

医療と倫理

M1-90048L1

1 ユニットの概要

医学はその発展の中で、つねに「正しい医療とは何か」、「良い医師とはどのような人か」を問い続けてきた。しかし、これらの問いに典型的な答えが用意されているわけではない。なぜならば、医療行為は科学技術の発展にともなって常に変化するからであり、これらの問いに対する答え方も時代によって変化しうるからである。

古代ギリシャで西洋医学が生まれたときに、すでに医療倫理の基本的な考え方は出来上がっていた。しかし、単にそれを踏襲していけばよいというわけにはいかない。現代の医療技術を臨床現場に適用する際に、古代ギリシャの医療倫理をそのまま用いることが出来ない場合があるからである。

さまざまな医療技術があって、そのそれぞれに固有の倫理問題が伴っている。この講義では、それらを一つ一つ学んでいく。すでに普及した医療技術だけでなく、近未来の医療技術についても考察していく予定である。

最初の2回の講義で歴史を学んだあと、現代倫理学の三つの理論（功利主義、義務論、徳倫理）について学び、それらを医療の文脈に応用するトレーニングを行う（第6回～第15回）。この講義を学ぶことで、患者さんへの説明責任を果たすための能力を磨くことが期待されている。自分の意見をしっかり述べ、その理由を説明できるようになることが、本講義における受講生の到達目標である。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技術（診療の実践）
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの学修成果（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 現代の規範倫理学の三理論について、要点を他人に解説することができる（①、④、⑥）
- 現代医療の代表的な倫理問題について、要点を他人に解説することができる。（①、②、③）
- 現代医療の代表的な倫理問題に三理論を適用し、倫理的推論を行って結論を出すことができる。（①、④、⑥）

4 方 略

講義を聴いて、毎週課される「質問カード」に回答すること。本講義では、自分の倫理的直観を他者に伝わるよう「表現」できるようになることが目標である。質問カードへの回答は、そのためのトレーニングだと考えて欲しい。功利主義、義務論、徳倫理という三種類の規範倫理理論を使いこなせるように自己研鑽すること。「ユニット試験」で課される問題は、質問カードの応用編ということになる。毎週毎週の練習がとても大切である。

質問カードの考察課題は自分の言葉で考えるようにすること。論理的な倫理推論の練習をすることが講義の目的なので、手間をはぶいて生成AIを活用すると実力が全くつかないので注意すること。この講義では、情報収集の目的以外で「生成AIを利用することは禁止」する。

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	レポート	技能・態度	
	出席状況	態度	
	授業態度	態度	
	小テスト	知識	
	口頭試問	知識	
総括的評価	ユニット試験	態度	40%
	小テスト	知識・態度	60%
			%
			%
合 計			100%

(特記事項)

【出欠】30%以上欠席した場合は、不可となる。【小テスト】(60点)全15回講義の中で、毎回「質問カード」を配布するので回答すること。1回～5回は各回2点満点。第6回～15回は各回5点満点。期限をすぎたカードは一切受け取らない。回答に生成AIの文章をコピー＆ペーストした場合は、剽窃(ひょうせつ)とみなし0点となるので注意すること。【ユニット試験】(40点)筆記試験。「質問カード」(小テスト)でトレーニングした成果を試す。100点満点で採点し、40点に換算する。【再試験】本試験の成績が60点未満だった場合、あるいは総合得点が60点未満だった場合に再試験を課す(=小テストへの取り組みが不十分な場合も再試を課すということ)。【授業態度】講義への積極的取組を評価して、総合得点へ加点・減点することがある。

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

- ・ガイダンス時に配布される資料を熟読すること
- ・質問カードは Google Classroom で配信される。期限内に回答して返信すること。
- ・講義資料は Google Classroom にアップロードするので講義前に確認しておくこと。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：60 分、 復習：60 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・質問カードについては、優れた回答を講義の中で紹介する。
- ・ユニット試験の採点結果を知りたい場合は、アポイントを取って研究室に来ること。

9 教 育 担 当 者

ユニット責任者： 本田康二郎 一般教育機構 医療人文学

教 授 本田康二郎 一般教育機構 医療人文学

10 参 考 図 書 ・ 文 献

購入すべき図書

特に指定しない。

購入するとよい図書

1. 小川鼎三 『医学の歴史』 中央公論新社〈中公新書 39〉、1964
2. 加藤尚武・加茂直樹〔編〕『生命倫理学を学ぶ人のために』 世界思想社、1998
3. アンドレ・グアゼ 『「医」の倫理とは 明日の医療と哲学』 産業図書、2000
4. ビーチャム／チルドレス『生命医学倫理 第5版』 麗澤大学出版会、2009
5. アルバート・R・ジョンセン『医療倫理の歴史 バイオエシックスの源流と諸文化圏における展開』 ナカニシヤ出版、2009
6. A・キンブレール 『すばらしい人間部品産業』 講談社、2011
7. 赤林朗〔編〕『入門・医療倫理 I 〔改訂版〕』 勁草書房、2017
8. ミシェル・モランジュ 『生物科学の歴史 現代の生命思想を理解するために』 みすず書房、2017
9. マーク・オコネル 『トランスヒューマニズム 人間強化の欲望から不死の夢まで』 作品社、2018

第1学年

医療と倫理

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
前	1	4月17日（金）	1	講義	ガイダンス 生命倫理の誕生	SO-04-05-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	2	5月01日（金）	1	講義	医療倫理の歴史	SO-04-05-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	3	5月08日（金）	1	講義	現代倫理学の基礎理論 1（功利主義）	SO-04-04-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	4	5月15日（金）	1	講義	現代倫理学の基礎理論 2（義務論）	SO-04-04-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	5	5月22日（金）	1	講義	現代倫理学の基礎理論 3（徳倫理）	SO-04-04-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	6	5月29日（金）	1	講義	倫理理論を活用する	PR-04-01-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	7	6月05日（金）	1	講義	生の倫理1・・・生殖医療の倫理学	PR-04-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	8	6月19日（金）	1	講義	生の倫理2・・・遺伝子診断の倫理学	PR-04-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	9	6月22日（月）	1	講義	死の倫理1・・・脳死と臓器移植の倫理学	PR-04-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	10	6月26日（金）	1	講義	死の倫理2・・・終末期医療の倫理学	PR-04-01-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	11	7月03日（金）	1	講義	動物実験の倫理学	PR-04-01-03	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	12	8月21日（金）	1	講義	医療資源の分配と医療制度論	PR-04-01-03	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	13	8月28日（金）	1	講義	近未来の倫理1・・・クローニング・遺伝子編集の倫理学	PR-04-01-03	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	14	9月04日（金）	1	講義	近未来の倫理2・・・人工知能と医療ビッグデータの倫理学	PR-04-01-03	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前		9月05日（土）	2	試験	ユニット本試験		一般教育機構 医療人文学	本田教授
前		9月05日（土）	3	試験	ユニット本試験		一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	15	9月07日（月）	1	講義	近未来の倫理3・・・トランスヒューマニズムの倫理学	PR-04-01-03	一般教育機構 医療人文学	本田教授